

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	山陰中央専門学校
設置者名	学校法人 坪内学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	こども総合学科1年	夜・通信	41単位 (ミュージックコース) 39単位 (スポーツコース)	6単位	
	こども総合学科2年	夜・通信	39単位 (ミュージックコース) 36単位 (スポーツコース)		
	介護福祉士学科1年	夜・通信	44単位	6単位	
	介護福祉士学科2年	夜・通信	48単位		
	自動車総合学科 2級整備士カスタマイズコース 2級整備士モーターサイクルコース 【1年】	夜・通信	*44単位	6単位	
	自動車総合学科 2級整備士カスタマイズコース 2級整備士モーターサイクルコース 【2年】	夜・通信	46単位		
	自動車総合学科 1級自動車整備士コース1年	夜・通信	*47単位	12単位	
	自動車総合学科 1級自動車整備士コース2年	夜・通信	*47単位		
	自動車総合学科 1級自動車整備士コース3年	夜・通信	49単位		
	自動車総合学科 1級自動車整備士コース4年	夜・通信	39単位		
(備考) *は募集停止のため昨年度実績数値					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山陰中央専門大学校
設置者名	学校法人 坪内学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/jigyo-houkoku/>（事業報告書p4）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市議会議員、会社役員	2020.1.10 ～2024.1.9	組織運営体制への チェック機能
非常勤	団体の役員	2020.1.10 ～2024.1.9	組織運営体制への チェック機能
非常勤	市議会議員、社会福祉法人の役員	2020.1.10 ～2024.1.9	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山陰中央専門大学校
設置者名	学校法人 坪内学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>・ 授業計画書 (シラバス) 作成過程・公表時期 『授業計画書 (シラバス) 作成ガイドライン』 (https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/syllabus/)の方針に従い授業担当者が作成する。</p> <p>授業計画書 (シラバス) 作成の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学生が目線に立って分かりやすい記述とする。 (2) 学習の見通しが立てられるように具体的な記述とする。 (3) 授業計画を不断に見直し、適時その内容を反映する。 (4) 実務経験のある教員による授業科目については、その旨明示する。 (5) 原則、開講の前年度までに作成し、開講年度初めに公表する。 (6) 公表は本校 HP にて行う。 	
授業計画書の公表方法	ホームページ https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/syllabus/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

『単位認定の方針』(https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/)

「学校法人坪内学園 教務規程」において、単位修得認定並びに成績評価(成績評価方法、定期試験、定期試験を行わない授業科目の評価方法、成績評価基準等)について定める。

授業計画書(シラバス)に示された評価の観点及び成績評価方法により、各規定に基づいて成績の評価及び評定を行い、単位修得を認定する。

※「学校法人坪内学園 教務規程」抜粋

(単位修得の認定)

第4条 履修した授業科目の単位修得の認定は、担当教員の評価に基づき校長が認定する。

- 2 単位修得の認定は次の条件を満たした時に行うものとする。
 - (1) 試験その他の審査による学習の評定が「C(可)」以上であること。成績の評価基準は第6章で定める。
 - (2) 山陰中央専門大学校の各学科においては、各授業科目の出席時間が指定基準時間数以上であること。
- 3 単位修得の認定は、原則としてその年度を超えて行わないものとする。但し、学則別表1(日本語学科においては別表第2)において、年度をまたいで履修する授業科目の単位修得の認定については、各学年の学習評価を踏まえて最終学年において行う。

(評定の決定手続き)

第39条 学習成績の評定は成績会議の審議を経て決定される。

(学習の評定)

第41条 試験その他の審査による評定は、A(優)、B(良)、C(可)及びD(不可)の4段階をもって行い、D(不可)を不合格とし単位修得の認定を行わない。

(評定基準)

第42条 前条の評定の基準は、当該授業科目の目標達成度に応じ、次の表のとおりとする。

山陰中央専門大学校	評 定	評定点	目標達成度
1級自動車整備士コース	A (優)	94～100	高い程度に達成しているもの
	B (良)	87～93	達成されているもの
	C (可)	80～86	おおむね達成しているもの
	D (不可)	79以下	達成されていないもの
2級整備士カスタマイズコース 2級整備士モーターサイクルコース こども総合学科 介護福祉士学科	A (優)	90～100	高い程度に達成しているもの
	B (良)	80～89	達成されているもの
	C (可)	70～79	おおむね達成しているもの
	D (不可)	69以下	達成されていないもの

(山陰中央専門大学校の成績評価方法)

第44条 山陰中央専門大学校の成績は、100点満点で評価する。授業科目の学習成績の評価は、定期試験または追試験（必要により再試験を含む）に、各授業科目において担当者が必要に応じて実施する試験、課題、レポートを加えたもの、並びに、平素の学習活動全般から得られる評価資料に基づいて総合的に定める。

- 2 加算基準(担当者が必要に応じて実施する試験平均点、課題平均点、レポート平均点)は以下のとおりとする。

	加点数	平均点
1級自動車整備士コース	10点	94点～100点
	7点	87点～93点
	5点	80点～86点
	0点	0点～79点

	加点数	平均点
2級整備士カスタマイズコース 2級整備士モーターサイクルコース こども総合学科 介護福祉士学科	10点	90点～100点
	7点	80点～89点
	5点	70点～79点
	0点	0点～69点

(定期試験を行わない授業科目の成績評価方法)

第45条 定期試験を行わない授業科目の成績は、具体的な評価方法により100点満点で評価し、シラバスに明示する。

- (1) 授業内での実技試験評価
- (2) レポートや課題等の提出物
- (3) 小テスト等による定着度の評価資料
- (4) 検定試験合格状況
- (5) 実習やインターンシップ等における報告書
- (6) その他根拠となる資料または方法

(評定の時期)

第46条 成績の評定は、原則として前期末および後期末に行うものとする。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

評定A～Dの基準となる評定点について、全科目合計点の平均を算出(100点満点)することにより、学生の成績分布を把握する。

※「学校法人坪内学園 教務規程」抜粋

(評定基準)

第42条 前条の評定の基準は、当該授業科目の目標達成度に応じ、次の表のとおりとする。

山陰中央専門大学校	評 定	評定点	目標達成度
1級自動車整備士コース	A (優)	94～100	高い程度に達成しているもの
	B (良)	87～93	達成されているもの
	C (可)	80～86	おおむね達成しているもの
	D (不可)	79以下	達成されていないもの
2級整備士カスタマイズコース 2級整備士モーター サイクルコース こども総合学科 介護福祉士学科	A (優)	90～100	高い程度に達成しているもの
	B (良)	80～89	達成されているもの
	C (可)	70～79	おおむね達成しているもの
	D (不可)	69以下	達成されていないもの

客観的な指標の
算出方法の公表方法

『客観的な指標の算出方法』

https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

・卒業の認定に関する方針の具体的な内容

『ディプロマ・ポリシー』を定め、公表している。

建学の精神に基づき各学科の教育目標を実現するために、目標とする能力を身につけ、かつ、所定の時間を履修し単位を修得した学生に卒業を認定する。

こども総合学科、介護福祉士学科及び自動車総合学科(2級整備士カスタマイズコース、2級整備士モーターサイクルコース)の修了者に対しては「専門士」の称号を付与し、また、自動車総合学科1級自動車整備士コースの修了者に対しては、「高度専門士」が付与される。

・卒業認定の手順

「学校法人坪内学園 教務規程」において、卒業要件及び卒業認定の手順について定めている。

学生の成績の一覧表を作成し、年度末に進級判定会議及び卒業判定会議を開催する。履修状況及び修得単位数を確認し、進級または卒業の可否を審議・判定する。進級要件を満たした者に対し校長が進級を認定する。卒業要件を満たした者に対し校長が卒業を認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

『ディプロマ・ポリシー』

https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	山陰中央専門学校
設置者名	学校法人 坪内学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/jigyo-houkoku/ (事業報告書 p 10)
収支計算書又は損益計算書	https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/jigyo-houkoku/ (事業報告書 p 8~9)
財産目録	https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/jigyo-houkoku/ (事業報告書 p 11)
事業報告書	https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/jigyo-houkoku/
監事による監査報告（書）	https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/jigyo-houkoku/ (事業報告書 p 12)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	こども総合学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	※2年間の総単位数は入学年度によって異なる					
		104 (現1年)	42(1年)	55(1年)	6(1年)		1(1年)
		105 (現2年)	41(2年)	57(2年)	6(2年)	0	1(2年)
		単位	単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		38人	0人	5人	9人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>(概要)</p> <p>教育課程編成委員会における委員の助言等を参考に、『カリキュラムポリシー』に基づいて、現行カリキュラムの改善を検討する。 カリキュラムの変更は、理事会及び評議員会の承認を受けて行う。</p> <p>授業担当者は『授業計画書（シラバス）作成ガイドライン』の方針に従い、授業計画書（シラバス）を作成する。原則、開講の前年度までに作成し、開講年度初めに公表する。 公表は本校HPにて行う。 授業計画を不断に見直し、適時その内容を反映する。 ※『カリキュラムポリシー』、『授業計画書（シラバス）作成ガイドライン』、授業計画書（シラバス）はHP参照：https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/syllabus/</p>

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>『単位認定の方針』 (https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/) 「学校法人坪内学園 教務規程」において、単位修得認定並びに成績評価（成績評価方法、定期試験、定期試験を行わない授業科目の評価方法、成績評価基準等）について定める。 授業計画書(シラバス)に示された評価の観点及び成績評価方法により、各規定に基づいて成績の評価及び評定を行い、単位修得を認定する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業の認定に関する方針の具体的な内容 『ディプロマ・ポリシー』 (https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/) を定め、公表している。 建学の精神に基づき各学科の教育目標を実現するために、以下のような能力を身につけ、かつ、所定の時間を履修し単位を修得した学生に卒業を認定する。 こども総合学科の修了者に対しては「専門士」の称号を付与される。 <ol style="list-style-type: none"> 1 2年間のカリキュラムの履修を通し、保育者としての使命感を育み、保育の専門家として必要な知識及び実践的能力を身につけている。 2 音楽、体育及び造形等の科目を通し、保育の現場で必要とされる技能、表現及びコミュニケーション能力を養い、こどもへの援助方法・指導方法を身につけている。 3 保育実習を通して理論と実践の一体化を図り、保育の現場で即戦力として活躍できる実践的な力を身につけている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 進級・卒業の認定基準(要件)及び認定の手順 「学校法人坪内学園 教務規程」において定めている。 学生の成績の一覧表を作成し、年度末に進級判定会議及び卒業判定会議を開催する。履修状況及び修得単位数を確認し、進級または卒業の可否を審議・判定する。進級要件を満たした者に対し校長が進級を認定する。卒業要件を満たした者に対し校長が卒業を認定する。
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>授業時間外に補習の時間を設け、学修支援を行っている。 希望学生が担当教員に個別に相談できる体制がある。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	22人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 保育園、幼稚園、認定こども園、知的障害者・身体障害者支援施設等			
(就職指導内容) 他校と合同の企業・法人ガイダンスを開催し関連業界、就職先候補となる法人への理解を深める場の提供。個別就職相談、履歴書作成、模擬面接の実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格、幼児体育指導2級、ビジネス能力検定ジョブパス3級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	2人	4.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時面談や家庭訪問を実施するなど学校、学生、学生保護者の連携を密にしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	介護福祉士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	※2年間での総単位数は 入学年度によって異なる 89 (現1年) 94 (現2年) 単位	45(1年)	35(1年)	9(1年)	0	0
			47(2年)	38(2年)	9(2年)		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		22人	10人	3人	1人	4人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>教育課程編成委員会における委員の助言等を参考に、『カリキュラムポリシー』に基づいて、現行カリキュラムの改善を検討する。 カリキュラムの変更は、理事会及び評議員会の承認を受けて行う。</p> <p>授業担当者は『授業計画書(シラバス)作成ガイドライン』の方針に従い、授業計画書(シラバス)を作成する。原則、開講の前年度までに作成し、開講年度初めに公表する。 公表は本校HPにて行う。 授業計画を不断に見直し、適時その内容を反映する。</p> <p>※『カリキュラムポリシー』、『授業計画書(シラバス)作成ガイドライン』、 授業計画書(シラバス)はHP参照：https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/syllabus/</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>『単位認定の方針』(https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/) 「学校法人坪内学園 教務規程」において、単位修得認定並びに成績評価(成績評価方法、定期試験、定期試験を行わない授業科目の評価方法、成績評価基準等)について定める。 授業計画書(シラバス)に示された評価の観点及び成績評価方法により、各規定に基づいて成績の評価及び評定を行い、単位修得を認定する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業の認定に関する方針の具体的な内容 『ディプロマ・ポリシー』(https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/) を定め、公表している。 建学の精神に基づき各学科の教育目標を実現するために、以下のような能力を身につけ、かつ、所定の時間を履修し単位を修得した学生に卒業を認定する。

介護福祉士学科の修了者に対しては「専門士」の称号を付与される。

- 1 2年間のカリキュラムの履修を通し、介護福祉士としての使命感を育み、介護の専門家として必要な知識及び実践的能力を身につけている。
- 2 介護実習を通して、利用者・家族・施設職員等に対するコミュニケーション能力を養うとともに、利用者の状態の変化に対応できる能力を身につけている。
- 3 介護実習を通して理論と実践の一体化を図り、介護の現場で利用者の尊厳を支えるケアができる実践的な力を身につけている。

・進級・卒業の認定基準(要件)及び認定の手順

「学校法人坪内学園 教務規程」において定めている。
 学生の成績の一覧表を作成し、年度末に進級判定会議及び卒業判定会議を開催する。履修状況及び修得単位数を確認し、進級または卒業の可否を審議・判定する。進級要件を満たした者に対し校長が進級を認定する。卒業要件を満たした者に対し校長が卒業を認定する。

学修支援等

(概要)

授業時間外に補習の時間を設け、学修支援を行っている。
 希望学生が担当教員に個別に相談できる体制がある。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム、老人保健施設、障害者支援施設等			
(就職指導内容) 他校と合同の企業・法人ガイダンスを開催し関連業界、就職先候補となる法人への理解を深める場の提供。個別就職相談、履歴書作成、模擬面接の実施。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 介護福祉士、初任者研修修了、ケア・コミュニケーション検定 ビジネス能力検定ジョブパス3級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	1 人	8.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時面談や家庭訪問を実施するなど学校、学生、学生保護者の連携を密にしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	自動車総合学科 2級整備士カスタマイズコース 2級整備士モーターサイクルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	91 単位	38	14	39	0	0
			単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
学科全体 70 人		22 人	11 人	学科全体 3 人	学科全体 2 人	学科全体 5 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>教育課程編成委員会における委員の助言等を参考に、『カリキュラムポリシー』に基づいて、現行カリキュラムの改善を検討する。 カリキュラムの変更は、理事会及び評議員会の承認を受けて行う。</p> <p>授業担当者は『授業計画書 (シラバス) 作成ガイドライン』の方針に従い、授業計画書 (シラバス) を作成する。原則、開講の前年度までに作成し、開講年度初めに公表する。 公表は本校 HP にて行う。 授業計画を不断に見直し、適時その内容を反映する。</p> <p>※『カリキュラムポリシー』、『授業計画書 (シラバス) 作成ガイドライン』、 授業計画書 (シラバス) は HP 参照：https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/syllabus/</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>『単位認定の方針』 (https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/) 「学校法人坪内学園 教務規程」において、単位修得認定並びに成績評価 (成績評価方法、定期試験、定期試験を行わない授業科目の評価方法、成績評価基準等) について定める。 授業計画書 (シラバス) に示された評価の観点及び成績評価方法により、各規定に基づいて成績の評価及び評定を行い、単位修得を認定する。</p>

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業の認定に関する方針の具体的な内容 『ディプロマ・ポリシー』 (https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/) を定め、公表している。 建学の精神に基づき各学科の教育目標を実現するために、以下のような能力を身につけ、かつ、所定の時間を履修し単位を修得した学生に卒業を認定する。

自動車総合学科(2級整備士カスタマイズコース、2級整備士モーターサイクルコース)の修了者に対しては「専門士」の称号を付与される。

【自動車総合学科】

2級整備士カスタマイズコース／2級整備士モーターサイクルコース

- 1 2年間のカリキュラムの履修を通し、自動車整備士としての使命感を育み、自動車関連分野の基礎・原理を体系的に理解し、専門家として必要な知識及び実践的能力を身につけている。
- 2 学科・実習科目の学習を通して、自動車に関する幅広い基礎知識・専門知識を習得し、2級自動車整備士として必要な知識を身につけている。
- 3 実習を通して、課題を発見しそれを解決する能力を養い、自動車整備の現場で即戦力として活躍できる実践的能力を身につけている。

・進級・卒業の認定基準(要件)及び認定の手順

「学校法人坪内学園 教務規程」において定めている。
 学生の成績の一覧表を作成し、年度末に進級判定会議及び卒業判定会議を開催する。履修状況及び修得単位数を確認し、進級または卒業の可否を審議・判定する。進級要件を満たした者に対し校長が進級を認定する。卒業要件を満たした者に対し校長が卒業を認定する。

学修支援等

(概要)

授業時間外に補習の時間を設け、学修支援を行っている。
 希望学生が担当教員に個別に相談できる体制がある。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

2級自動車整備士コース

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	16人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)

自動車関連会社

(就職指導内容)

他校と合同の企業・法人ガイダンスを開催し関連業界、就職先候補となる法人への理解を深める場の提供。個別就職相談、履歴書作成、模擬面接の実施。

(主な学修成果 (資格・検定等))

2級ガソリン・ジーゼル自動車整備士、2級二輪自動車整備士、低圧電気取扱業務特別教育修了資格、アーク溶接等業務特別教育修了資格、中古自動車査定士、ビジネス能力検定ジョブパス3級

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時面談や家庭訪問を実施するなど、学校、学生、学生保護者の連携を密にするようにしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	自動車総合学科 1級自動車整備士コース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	182 単位	77	23	82	0	0
			単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
学科全体 70 人	14 人	0 人	学科全体 3 人	学科全体 2 人	学科全体 5 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>教育課程編成委員会における委員の助言等を参考に、『カリキュラムポリシー』に基づいて、現行カリキュラムの改善を検討する。 カリキュラムの変更は、理事会及び評議員会の承認を受けて行う。</p> <p>授業担当者は『授業計画書（シラバス）作成ガイドライン』の方針に従い、授業計画書（シラバス）を作成する。原則、開講の前年度までに作成し、開講年度初めに公表する。 公表は本校 HP にて行う。 授業計画を不断に見直し、適時その内容を反映する。</p> <p>※『カリキュラムポリシー』、『授業計画書（シラバス）作成ガイドライン』、 授業計画書（シラバス）は HP 参照：https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/syllabus/</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>『単位認定の方針』（https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/） 「学校法人坪内学園 教務規程」において、単位修得認定並びに成績評価（成績評価方法、定期試験、定期試験を行わない授業科目の評価方法、成績評価基準等）について定める。 授業計画書（シラバス）に示された評価の観点及び成績評価方法により、各規定に基づいて成績の評価及び評定を行い、単位修得を認定する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業の認定に関する方針の具体的な内容 『ディプロマ・ポリシー』（https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/） を定め、公表している。 <p>建学の精神に基づき各学科の教育目標を実現するために、以下のような能力を身につけ、かつ、所定の時間を履修し単位を修得した学生に卒業を認定する。 自動車総合学科（1級自動車整備士コース）の修了者に対しては、「高度</p>

専門士」が付与される。

【自動車総合学科 1級自動車整備士コース】

- 1 4年間のカリキュラムの履修を通し、自動車整備士としての使命感を育み、自動車を構成する各装置の制御システムについての基礎・原理を理解し、専門家として必要な高度な知識及び実践的能力並びにサービスフロントとしての対応力を身につけている。
- 2 学科・実習科目の学習を通して、自動車に関する高度な専門知識を習得し、1級自動車整備士として必要な知識を身につけている。
- 3 体験実習を通して、実践的課題を発見しそれを解決する能力を養い、自動車整備の現場で即戦力として活躍できる実践的な力を身につけている。

・進級・卒業の認定基準(要件)及び認定の手順

「学校法人坪内学園 教務規程」において定めている。

学生の成績の一覧表を作成し、年度末に進級判定会議及び卒業判定会議を開催する。履修状況及び修得単位数を確認し、進級または卒業の可否を審議・判定する。進級要件を満たした者に対し校長が進級を認定する。卒業要件を満たした者に対し校長が卒業を認定する。

学修支援等

(概要)

授業時間外に補習の時間を設け、学修支援を行っている。

希望学生が担当教員に個別に相談できる体制がある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

1級自動車整備士コース

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)

自動車関連会社

(就職指導内容)

他校と合同の企業・法人ガイダンスを開催し関連業界、就職先候補となる法人への理解を深める場の提供。個別就職相談、履歴書作成、模擬面接の実施。

(主な学修成果（資格・検定等）)

1級小型自動車整備士、2級ガソリン・ジーゼル自動車整備士、2級二輪自動車整備士、低圧電気取扱業務特別教育修了資格、アーク溶接等業務特別教育修了資格、中古自動車査定士、ビジネス能力検定ジョブパス3級

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	1 人	4.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時面談や家庭訪問を実施するなど、学校、学生、学生保護者の連携を密にするようにしている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
こども総合	220,000 円	720,000 円	230,000 円	施設費 ※諸費用は別途
介護福祉士	220,000 円	720,000 円	230,000 円	施設費 ※諸費用は別途
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/koukai_2020/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育活動その他の学校運営について、目標の達成状況や取組の適切さなどを評価し、学校としての組織的、継続的な改善を図ること、評価結果の公表・説明責任を果たし、企業、保護者、地域住民などから理解と参画を得て、学校・企業・団体・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること、評価結果に応じて改善措置を講ずることにより、一定水準の教育の質を保障し、その向上を図ることを目的とし、基本方針とする。 (参照 : https://sicc.sctg.ac.jp/specialized-course/course-list/) 委員会は 8 月と 3 月に開催し、アドバイスを受けその後改善方策を講じる。また、委員の中から委員長を選出し、委員長を責任者とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
松江市総務部	2019. 4. 1～2021. 3. 31	地域の地方公共団体の関係者
一般社団法人島根県自動車整備振興会	2019. 4. 1～2021. 3. 31	学校の専門分野における業界関係者
社会福祉法人坪内宝珠会	2019. 4. 1～2021. 3. 31	学校の専門分野における業界関係者
社会福祉法人松江市社会福祉協議会	2019. 4. 1～2021. 3. 31	学校の専門分野における業界関係者
学校法人永島学園	2019. 4. 1～2021. 3. 31	中学校、高等学校等の校長、進路指導担当者等
昭和商事株式会社	2019. 4. 1～2021. 3. 31	地域住民
山陰中央専門大 学校保護者代表	2020. 6. 1～2021. 6. 30	PTA
税理士法人錦織会計事務所	2019. 4. 1～2021. 3. 31	学校運営に関する専門家
ネットヨタ島根株式会社	2019. 4. 1～2021. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://sicc.sctg.ac.jp/evaluation/		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://sicc.setg.ac.jp/>